



GXtestV4

インストールガイド

2019 年 8 月



GeneXus Japan Inc.

Copyright © 2019 GeneXus Japan Inc. All rights reserved.

本書には正確な情報を記載するように努めました。ただし、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。なお、本書に記載されている画面はソフトウェアの更新などにより予告なく変更される場合があります。ご了承ください。

本書に記載のその他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。GeneXus Japan Inc. は他社製品の性能または使用につきましては一切の責任を負いません。

ジェネクス・ジャパン株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2 丁目 27 番 3 号

電話番号 : 03-6303-9381 FAX : 03-6303-9980

<http://www.genexus.jp>



目次

はじめに.....	4
GXtestV4 概要	4
GXtestV4 の無料と有償の機能	4
GXserver のインストール	5
GXtestV4 の要件.....	5
インスタンス間での GXtestV4 ライセンスの共有.....	6
GXtestV4 ライセンスの管理	6
GXserver のライセンスが無い時.....	6
ご利用局面ごとの手順概要.....	7
1. GXtestV4 の新規利用	8
1.1 GXtestV4 ご利用の準備	8
1.2 新規ライセンス請求	8
1.3 新規ライセンスの取り込み.....	9
2. ライセンスの継続	10
2.1 継続ライセンス請求	10
2.2 継続ライセンスの取り込み	11
3. マシンの変更によるライセンスの移行	12
3.1 移行先マシンのからの新規ライセンス請求.....	12
3.2 アンインストールのエビデンスの取得	13
4. ライセンスのトラブルシューティング	13
4.1 ライセンス停止のエビデンスの取得	13
4.2 ライセンスの再請求か緊急ライセンスかの選択	14
4.3 ライセンスの請求	14
4.4 再発行ライセンスの取込み	15
操作詳細.....	16
A) GXserver へのログインとライセンス管理画面	18
B) 請求ファイルの作成	20
C) ライセンスの取り込み	22
D) ライセンスのアンインストール.....	25



はじめに

本書は、GXtestV4 をご利用いただくためのガイドブックです。

- 「はじめに」セクションでは、GXtestV4 を使用する上で重要な内容を紹介します。
- 「ご利用局面ごとの手順概要」セクションでは、各種利用局面ごとの手順を説明します。
- 「操作詳細」セクションでは、各種利用局面における操作を説明します。

GXtestV4 ライセンス概要

- GXtestV4 には無料と有償の機能があります。
- 有償機能の利用には GXtestV4 ライセンスおよび GXserver16U4 以降が必要です。
- GXtestV4 ライセンスは GXserver の Web コンソールで管理します。
- GXtestV4 ライセンスは GXserver が稼働するサーバー端末の台数だけ本数が必要なサーバーライセンスです。サーバー端末が 1 台ならライセンスは 1 本必要となります。
- GXserver で GXtestV4 ライセンスを取り込めば、その GXserver にアクセスする全ての開発者が GXtestV4 ライセンスを使用できます。

GXtestV4 の無料と有償の機能

GXtestV4 は GXtest の最新バージョンとなり、GeneXus16U4 からご利用いただけます。**GXtestV4 は GeneXus に組み込まれていますので、GXtestV4 を利用するために改めて「GXtestV4 をインストールする」必要はありません。** GXtestV4 には、**無料**の機能と**有償**の機能があります。GeneXus の開発環境が整っていれば、無料の機能はご利用できます。一方で有償の機能をご利用するには、GXtestV4 のライセンスをご購入していただき、GXserver の環境を整える必要があります。GXtestV4 のどの機能が無料/有償かは下記の Wiki をご確認ください。

<http://wiki.genexus.jp/hwikibypageid.aspx?41571>



GXserver のインストール

GXtestV4 ライセンスは、GXserver で管理します。そのため、GXtestV4 の有償機能の利用には、
①GeneXus16U4 以降、②GXserver16U4 以降、③GXserver ライセンス、④GXtestV4 ライセンス、の 4
つが必要となります。また、繰り返しになりますが、GXtestV4 は GeneXus に組み込まれていますので、
無料/有償の機能に関わらず GXtestV4 を利用するために改めて「GXtestV4 をインストールする」必要はあ
りません。

例 1：現在、GeneXus16U2 と GXserver16U2 で開発を行っている。

GXtestV4 有償機能の利用には下記が必要です。

1. GeneXus16U4 以降
2. GXtestV4 ライセンス
3. GXserver16U4 以降

例 2：現在、GeneXus16U2 で開発を行っている。

GXtestV4 有償機能の利用には下記が必要です。

1. GeneXus16U4 以降
2. GXtestV4 ライセンス
3. GXserver16U4 以降
4. GXserver ライセンス

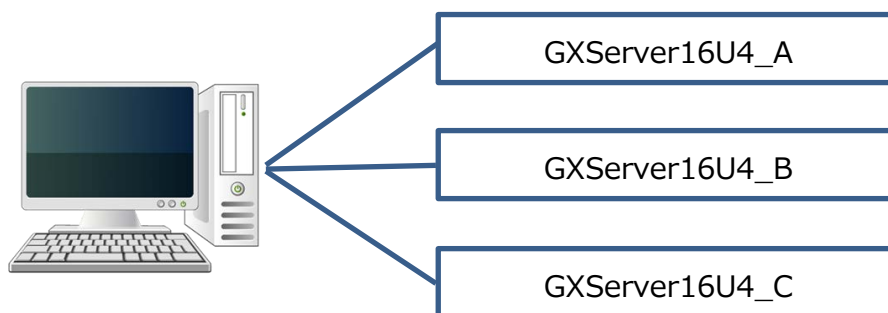
GXtestV4 の要件

GXtestV4 のハードウェアとソフトウェアの要件は GeneXus16 と同様になります。詳細は [GeneXus16 のハードウェアとソフトウェアの要件](#)の「ハードウェア要件」、「ソフトウェア要件」を確認してください。
また、GXtestV4 のオプション機能の使用には下記の要件があります。

GXtestV4 有償機能	GXserver
GXtest recorder (UI テストの記録)	Google Chrome
UI テストのリモートブラウザでの実行	Selenium

インスタンス間での GXtestV4 ライセンスの共有

下図のように 1 つの端末に GXserver16U4 以降のインスタンスが複数インストールされているとします。1 つのインスタンスで GXtestV4 ライセンスを承認すると、他のインスタンスでも GXtestV4 ライセンスを使用できます（ライセンスを共有できます）。



GXtestV4 ライセンスの管理

- GXtestV4 ライセンスは、GeneXus のライセンスマネージャーに表示されるのではなく、GXserver の Web コンソールという管理ツールを使って管理（ライセンスの新規請求、更新、取り込みなど）します。GXserver の Web コンソールは Web アプリケーションなので、開発を行うクライアント端末から Web コンソールにアクセスし、GXtestV4 ライセンスの管理を行うことができます。
- GXtestV4 のライセンスは GXserver インスタンスが保持するのではなく、端末が保持します。そのため、GXserver をアンインストールしてもライセンスは残ります。

GXserver のライセンスが無い時

GXserver ライセンスが無い（ライセンスの取り込み前、または取り込み後にライセンスが停止した）場合でも、GXtestV4 ライセンスの請求や取り込みは行えます。しかし、GXserver ライセンスが無ければ、GXtestV4 ライセンスがあっても、GXtestV4 有償機能は使用できません。



ご利用局面ごとの手順概要



1. GXtestV4 の新規利用

このセクションでは、GXtestV4 を新規にご利用される場合の手順について説明します。

1.1 GXtestV4 ご利用の準備

GXtestV4 をご利用するには下記の 4 つが必要です。

- ① GeneXus16U4 以降
- ② GXserver16U4 以降
- ③ GXserver ライセンス
- ④ GXtestV4 ライセンス

◆ ① GeneXus16U4 以降

「[GeneXus 16 インストールガイド](#)」を参考に GeneXus16U4 以降をインストールしてください。

◆ ② GXserver16U4 以降、③ GXserver のライセンス

GXserver16U4 をインストール頂き、必要に応じてライセンス請求、ライセンスのお取込みをお願い致します。手順につきましては、「[GeneXus Server 16 インストールガイド](#)」をご参照ください。なお、GXserver のライセンスが無い状態でも GXtestV4 ライセンスの請求と取り込みは行えます。ただし、GXserver のライセンスが無ければ、GXtestV4 の有償機能はご利用できません。

◆ ④ GXtestV4 ライセンス

当インストールガイド内でライセンスの請求と取り込み方法を説明します。

1.2 新規ライセンス請求

次の手順に従ってライセンスを請求してください。

重要：ライセンスの発行は GeneXus 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。

ライセンスの請求は日程に余裕を持って行ってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

重要： GeneXus パートナーから GXtestV4 を購入されたお客様の場合、パートナー宛にライセンス請求を行い、パートナーからライセンスキーを受領してください。

1. 操作詳細 [A\) GXserver へのログインとライセンス管理画面](#) (P18) に従って GXserver の Web コンソールでライセンス管理画面を開きます。
2. 操作詳細 [B\) 請求ファイルの作成](#) (P20) に従って請求ファイル (RequestGXtest.gxa ファイル) を作成します。
3. メールアプリケーションを起動し、ライセンス請求を行うためのメールを作成します。

メールには、以下の情報をお書き添えください。

➤ **送信するメールの件名：** GXtestV4 新規ライセンス請求

➤ **メールの本文：**

- 請求ファイル (RequestGXtest.gxa) (添付)
- 弊社より送付済みのライセンス証書に記載のライセンス番号 (6 桁の数字)
- ライセンス有効期限：20XX 年 X 月 X 日
- 請求ファイルを作成した GXserver のバージョン：「GXserver 16 Un」
「Un」はアップグレードバージョンです。例：U4
- GXserver Web コンソールのライセンス管理画面のフル画面コピー (添付)
※請求ファイルを作成した画面です。
- 上記画面コピーを取得した日付：20XX 年 X 月 X 日
- GxProt.log (添付)
※請求ファイルを作成した GXserver のインストールフォルダ直下にあります。
例：C:¥GeneXusServer16¥GxProt.log
- 貴社名
- ご担当者名
- お電話番号

4. ご購入のパートナーまたは keysmaster@genexus.jp にメールで送信します。

これでライセンス請求は完了です。発行されたライセンスは、ライセンス請求ユーザーのメールアドレスに送信されます。

1.3 新規ライセンスの取り込み

発行されたライセンスキーをマシンに取り込んで、有効にします。詳細な手順は [C\) ライセンスの取込み](#) (P22) を参照してください。

2. ライセンスの継続

このセクションでは、ライセンスの継続更新について説明します。

2.1 継続ライセンス請求

次の手順でライセンス請求を行ってください。

重要：ライセンスの発行は GeneXus 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。

ライセンスの請求は日程に余裕を持って行ってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

重要：GeneXus パートナーから GXtestV4 を購入されたお客様の場合、パートナー宛にライセンス請求を行い、パートナーからライセンスキーを受領してください。

重要：ライセンスを請求するとき、ライセンスキーを取込むときの「ライセンス状態」は同じである必要があります。「ライセンス状態」が異なると、ライセンスキーが取込めなくなります。有効日数が残っている「承認済み」の状態ではライセンスキーを取込めるように、余裕をもって残り日数が 5 営業日以上ある時点で請求を行ってください。

やむを得ず残り日数が「1 日」になってしまった場合は、ライセンス取込み時点で「ライセンス状態」が「未承認（このサイトでは承認されていません。）」に変わってしまってもライセンスキーが取り込めなくなってしまうので、その場合は、ライセンスをアンインストールしてからライセンス請求してください。

アンインストールの手順は、詳細手順 [D\) ライセンスのアンインストール](#)（P25）にしたがってください。

1. 操作詳細 [A\) Gxserver へのログインとライセンス管理画面](#)（P18）に従って GXserver の Web コンソールでライセンス管理画面を開きます。
2. 操作詳細 [B\) 請求ファイルの作成](#)（P20）に従って請求ファイル（RequestGXtest.gxa ファイル）を作成します。



3. メールアプリケーションを起動し、ライセンス請求を行うためのメールを作成します。

メールには、以下の情報をお書き添えください。

➤ **送信するメールの件名**：GXtestV4 継続ライセンス請求

➤ **メールの本文**：

- 請求ファイル (RequestGXtest.gxa) (添付)
- 弊社より送付済みのライセンス証書に記載のライセンス番号 (6桁の数字)
- ライセンス有効期限：20XX年X月X日
- 請求ファイルを作成したGXserverのバージョン：「GXserver 16 Un」
「Un」はアップグレードバージョンです。例：U4
- GXserver Web コンソールのライセンス管理画面のフル画面コピー (添付)
※請求ファイルを作成した画面です。残日数が分かるようにしてください。
- 上記画面コピーを取得した日付：20XX年X月X日
- GxProt.log
※請求ファイルを作成したGXserverのインストールフォルダ直下にあります。
例：C:\GeneXusServer16\GxProt.log
- 貴社名
- ご担当者名
- お電話番号

4. ご購入のパートナーまたは keysmaster@genexus.jp にメールで送信します。

これでライセンス請求は完了です。発行されたライセンスは、ライセンス請求ユーザーのメールアドレスに送信されます。

2.2 継続ライセンスの取り込み

発行されたライセンスキーをマシンに取り込んで、有効にします。詳細な手順は [C\) ライセンスの取込み \(P22\)](#) を参照してください。

3. マシンの変更によるライセンスの移行

GeneXus のライセンスマネージャーと異なり、GXserver の Web コンソールにはライセンスを移行する機能がありません。マシンの変更によりライセンスを移行させたい場合は、移行先のマシンで新規ライセンスを請求、取り込みしたあとに、旧マシンのライセンスをアンインストールしてください。

重要：ライセンスの発行は GeneXus 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。

ライセンスの請求は日程に余裕を持って行ってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

3.1 移行先マシンのからの新規ライセンス請求

まずは新しいマシンに Gxserver16U4 以降をインストールしてください。インストールできたら

[A\) GXserver へのログインとライセンス管理画面](#) (P18) に従って GXserver の Web コンソールでライセンス管理画面を開きます。次に [B\) 請求ファイルの作成](#) (P20) に従って請求ファイル (RequestGXtest.gxa) を作成します。請求ファイルをメールに添付してライセンスの請求を行ってください。メールには、以下の情報をお書き添えください。

※マシンを変更するということは、GXserver のライセンスも新規発行が必要です。GXserver と GXtest の新規ライセンス請求は並行して行うことができます。

➤ **送信するメールの件名：**GXtestV4 マシン変更によるライセンス請求

➤ **メールの本文：**

- 請求ファイル (RequestGXtest.gxa) (添付)
- 弊社より送付済みのライセンス証書に記載のライセンス番号 (6 桁の数字)
- ライセンス有効期限：20XX 年 X 月 X 日
- 請求ファイルを作成した GXserver のバージョン：「GXserver 16 Un」
「Un」はアップグレードバージョンです。例：U4
- GXserver Web コンソールのライセンス管理画面のフル画面コピー (添付)
※請求ファイルを作成した画面です。残日数が分かるようにしてください。
- 上記画面コピーを取得した日付：20XX 年 X 月 X
- GxProt.log (添付)
※請求ファイルを作成した GXserver のインストールフォルダ直下にあります。
例：C:\GeneXusServer16\GxProt.log



- 貴社名
- ご担当者名
- お電話番号
- 旧マシンのライセンスアンインストール予定日

ご購入のパートナーまたは keysmaster@genexus.jp にメールで送信してください。

3.2 アンインストールのエビデンスの取得

1. 操作詳細 [D\) ライセンスのアンインストール](#) (P25) に従いライセンスをアンインストールし、アンインストールのエビデンスを取得します。

2. ご購入のパートナーまたは keysmaster@genexus.jp に下記のメールを送信してください。

➤ **送信するメールの件名：**

GXtestV4 マシン変更によるアンインストールのエビデンス送付

メールの本文：

アンインストールのエビデンスを添付してください。

4. ライセンスのトラブルシューティング

トラブル等によりライセンスが停止してしまう場合があります。その場合は、エビデンスからライセンスの停止が確認できましたらライセンスを再発行します。

参考：ライセンスが停止中になる主な原因

＜禁止事項の実施＞

- ・ GXserver がインストールされているマシンのシステム日付の変更
- ・ レジストリー情報の修正

＜不可避事項＞

- ・ OS のアップデートによるシステムの変更、OS の不具合
- ・ GXserver の Protect.dll の不具合(GXserver の Protect.dll を共有しているため)

次の手順でライセンスの再発行を依頼してください

4.1 ライセンス停止のエビデンスの取得

旧ライセンスが停止したことを証明するエビデンスが必要です。

- 添付ファイル : GxProt.log ファイル

GXserver のインストールフォルダ直下にある GxProt.log ファイルには、GXserver と GXtest ライセンスの操作が記録されますので、GxProt.log ファイルを用意してください。

例 : C:\¥GeneXusServer16¥GxProt.log

- GXserver Web コンソールのライセンス管理画面のフル画面コピー
(停止したことが分かるように)
- 上記画面コピーを取得した日付 : 20XX 年 X 月 X 日

重要 : エビデンスが提出できない場合 :

マシンの故障等でエビデンスを作成できない場合は、「ライセンス再発行依頼書」を提出いただきます。

提出後にライセンスの再請求を行っていただきます。

1. 弊社に「ライセンス再発行依頼書」をメールで請求します。
2. 必要事項を明記のうえ、社判を押印してから弊社まで郵送してください。
3. 再発行依頼書の確認後に弊社より連絡を差し上げますので、新しいマシンからライセンスの請求手続きを行ってください。

4.2 ライセンスの再請求か緊急ライセンスかの選択

ライセンスのトラブルシューティングで、ライセンスを再取得する場合は、以下の 2 つの方法から選択してください。

- ① ライセンスの再請求を行う。

「ライセンスの再請求」では、最短でもライセンスキーの受取りが翌日になってしまいます。

- ② 緊急ライセンスを請求してから再請求を行う。

「緊急ライセンス」は、即日発行しますが有効期間が 15 日間です。有効期間内に緊急ライセンスをインストールして、もう一度ライセンスの再申請を行うか、有効期間が切れてから再申請を行う必要があります。(緊急ライセンスに対して継続ライセンスは発行できません。)

請求の当日に、ライセンスが使えないことが許容できる場合は①、許容できないので、先々 15 日間の間で調整する場合は②を選択ください。

4.3 ライセンスの請求

1. [B\) 請求ファイルの作成](#) (P20) に従って請求ファイルを作成します。
2. ライセンス再発行の依頼メールを作成し、ご購入のパートナーまたは keysmaster@genexus.jp に送信する



- **送信するメールの件名：** GXtestV4 ライセンス再発依頼
GXtestV4 緊急ライセンス発行依頼

- **メールの本文：**

<エビデンス>

- GxProt.log ファイル（添付）
 - GXserver Web コンソールのライセンス管理画面のフル画面コピー（添付）
 - 画面コピーを取得した日付：20XX 年 X 月 X 日
- 上記エビデンスが取得できない場合は「ライセンス再発行依頼書提出済」と記載ください。

<再申請のための添付物と情報>

- 請求ファイル（RequestGXtest.gxa）
- 弊社より送付済みのライセンス証書に記載のライセンス番号（6桁の数字）
- ライセンス有効期限：20XX 年 X 月 X 日
- 請求ファイルを作成した GXserver のバージョン：「GXserver 16 Un」
「Un」はアップグレードバージョンです。例：U4
- 貴社名
- ご担当者名
- お電話番号

4.4 再発行ライセンスの取込み

再発行されたライセンス、または緊急ライセンスをマシンに取り込んで、有効にします。

操作詳細。[C\) ライセンスの取込み](#)（P22）に従ってください。



操作詳細

A) GXserver へのログインとライセンス管理画面

GXserver のライセンス管理画面を開く方法を説明します。
まずは Gxserver 16U4 以降の Web コンソールを開きます。



「**認証タイプ**」のプルダウンメニューから「**ローカル**」を選択し、「**ユーザー名**」フィールドに「**admin**」と入力し、「**パスワード**」フィールドに「**admin123**」(初期値)と入力します。

参考 : GXserver のライセンスを取り込む前は、「**admin**」でしかログインができません。既に GXserver ライセンスを取り込み、管理者権限が付与されたユーザーを作成した場合は、「admin」の代わりにそのユーザーでログインしても問題ありません。

ログイン後、画面左側のメニューから「ライセンス」をクリックすることで画面中央に「ライセンス管理画面」を表示させます。





下図の**ライセンス管理画面**ではGXserver（青枠）とGXtest（赤枠）のライセンスを管理することができます。GXtest ライセンスの管理を行うには下図の**赤枠**を操作します。**青枠**を操作しないようにしてください。

GXserver License

ライセンスの状態: このサイトでは承認されていません。理由: このバージョンには正規ライセンスが必要です

ライセンスを請求

ライセンスを入力

ファイルをアップロードする

GXtest License

ライセンスの状態: このサイトでは承認されていません。

ライセンスを請求

ライセンスを入力

ファイルをアップロードする

B) 請求ファイルの作成

請求ファイルの作成方法を説明します。なお、新規ライセンスの請求ファイルと継続ライセンスの請求ファイルの作成方法は同じです。

ライセンス管理画面で「ライセンスを請求」をクリックします。

GXtest License

ライセンスの状態: このサイトでは承認されていません。

ライセンスを請求

ライセンスを入力

ファイルをアップロードする

下図の青枠が表示されるので、青枠内の「オフライン」をクリックします。「オフライン」をクリックすると、「RequestGXtest.gxa」ファイルが作成（ダウンロード）されるので、保存してください。

「RequestGXtest.gxa」が請求ファイルです。

The screenshot shows the 'GXtest License' interface. At the top, it says 'ライセンスの状態: このサイトでは承認されていません。' (License status: Not approved on this site). Below this are three buttons: 'ライセンスを請求' (Request license), 'ライセンスを入力' (Enter license), and 'ファイルをアップロードする' (Upload file). A blue rectangular box highlights a dropdown menu showing 'GXtest コーポレート - ユーザー数無制限 (V4)' with a downward arrow. Below the dropdown are three buttons: 'オンライン' (Online), 'オフライン' (Offline), and 'キャンセル' (Cancel). The 'オフライン' button is highlighted with a red rectangular box.

※ 「RequestGXserver.gxa」が作成された場合、GXserver ライセンスの請求ファイルが作成されています。画面を再確認いただき、GXtest の請求ファイルを作成してください。

参考：

継続ライセンスの請求ファイルは、「ライセンスの状態」が「承認済み」である場合のみ作成されます。ライセンスの状態が未承認（このサイトでは承認されていません）の場合は、新規ライセンスの請求ファイルが作成されます。

The screenshot shows the 'GXtest License' interface with the status '承認済み' (Approved) in a red box. The text 'ライセンスの状態: GXtest コーポレート - ユーザー数無制限 (V4): 承認済み。' is displayed. Below this, it says 'ユーザー数無制限。開始日: 19/07/17 00:00. 残存日数: 15'. At the bottom, there are four buttons: 'ライセンスを請求' (Request license), 'ライセンスを入力' (Enter license), 'ファイルをアップロードする' (Upload file), and 'アンインストール' (Uninstall).

C) ライセンスの取り込み

ここでは、ライセンスの取り込み方法を説明します（ライセンスと取り込むことを、ライセンスを「承認する」とも言います）。新規ライセンスと継続ライセンスの取り込み方法は同じです。

ライセンスの管理画面を開き、「ファイルをアップロードする」をクリックします。ファイルの選択画面が開きますので、発行されたライセンス（.gxa ファイル）を選択します。

GXtest License

ライセンスの状態: このサイトでは承認されていません。

ライセンスを請求

ライセンスを入力

ファイルをアップロードする

◆ ライセンスが取り込まれたかの確認

・新規ライセンスの場合

「ライセンスの状態」が「承認済み」になればライセンスの取り込みは成功です。

GXtest License

ライセンスの状態: GXtest コーポレート - ユーザー数無制限 (V4): 承認済み。
ユーザー数無制限。開始日: 19/07/17 00:00. 残存日数: 15

ライセンスを請求

ライセンスを入力

ファイルをアップロードする

アンインストール



・ 継続ライセンスの場合

「残存日数」が増えればライセンスの取り込みは成功です。

GXtest License

ライセンスの状態: GXtest コーポレート - ユーザー数無制限 (V4): 承認済み。
ユーザー数無制限。開始日: 19/07/17 00:00. 残存日数: 15

ライセンスを請求ライセンスを入力ファイルをアップロードするアンインストール

◆ ライセンスが取り込めない場合

もし、前述の「ファイルをアップロードする」でライセンスの取り込みができない場合（ボタンが反応しない、ブラウザがフリーズするなど）、ブラウザを変更するか下記の「手動承認」をお試しください。

・ ライセンスを手動承認する方法

1. ライセンスが添付されたメールを開き、メールの下部にある SiteKey を選択しコピーします。

Product: GXtest Corporate 4

Site Code: 59652 20239 64021 65112 24494

Type: New Authorization | **Number of copies:** 1 | **Restriction:** Limited 30 Days |

SiteKey: A3KXVI+h/rIDrPvGBrPrT0Jaei7TNDitesmTNneBsn4rRFMBcVvEjLK8pYKLZdYOr732E99uZ5LluUOs+sYGrOu04lp6LtMw0aI13GluIS/tH2OISAEK/ISMsrylgotl1g6vvfYT31ZfoP65Q6z6xgas67TiWnou0zDRojXcaW6JL+0fY4hIAQr8hlyyvKWCi2XWDq+99hPfVI+g/rIDrPrGBqzr6AeiZVeaAKae2dBphgecSFdr0FOixkCDACcJfDdK6LbYaEm/pnsibsXNu4EYVQbD8ZuAhMZ6L1wNiVFrS2z0Uz7oApFU1ZlvM6BdsKD7VcTIC+Jqhr7vY7ciZDnsuRVtXNMAOclBHn2hkMv9W7D7V4ys5NzZ/ULu5QUorF1i3NXmnQCz8q2BpUYNmYOOE+ZMEoVT40d2lTAdk6JUN7TCNFq5JV0x7Utdlb4fgBgI0hELysbEuKpMe6Kz u7nveYM7l15hqnRESexuQzTYnaJ56Jv/iU30ha06UIrQL7Nu29FxeF0oWlySISmSy2FShSGs9uKaSza6F/24/JCzHtc46CX12XN+4rZzOTMue==

注意：ライセンス（.gxa ファイル）をテキストエディターで開くと上図のような SiteKey がありますが、それは手動承認では使用しません。

2. ライセンスの管理画面で「ライセンスを入力」をクリックします。

GXtest License

ライセンスの状態: このサイトでは承認されていません。

ライセンスを請求

ライセンスを入力

ファイルをアップロードする

3. 入力フィールドが表示されますので、コピーした SiteKey を貼り付けます。

GXtest License

ライセンスの状態: このサイトでは承認されていません。

ライセンスを請求ライセンスを入力ファイルをアップロードする

オーソライズ

キャンセル

- 「オーソライズ」をクリックします。

GXtest License

ライセンスの状態: このサイトでは承認されていません。

ライセンスを請求

ライセンスを入力

ファイルをアップロードする

A3KXVI+n/IIDIFVGBIFTC0JaeI7INDitesMINneBSn4TKFMBCV
yEjLK8pYKLZdYOr732E99uZ5LIuUOs+sYGrOu04lp6LtMw0aI1
3GluIS/tH2OISAEK/ISMsrylgotl1g6vvfYT31ZfoP65Q6z6xg
as67TiWnou0zDRojXcaW6JL+0fY4hIAQr8hIyyvKWCi2XWDq+9
9hPfVl+g/r1DrPrGBqzr6AeiZVeaAKae2dBphgecSFdr0FOixk
CDACcJfDdK6LbYaEm/pnsibsXNu4EYVQbD8ZuAhMZ6L1wNiVFr
s2zOUz7oApFU1ZlvM6BdsKD7VcTlC+Jqhr7vY7ciZDnsuRVtXN
MAOclBHn2hkMv9W7D7V4ys5NzZ/ULu5QUorF1i3NXmnQCz8q2B
pUYNmYOOE+ZMEoVT40d2lTAdk6JUN7TCNFq5JV0x7UtdIb4fgB
gI0lhELysbEuKpMe6Kz
u7nveYM7l15hqnRESexuQzTYnaJ56Jv/iU30haO6UIrQL7Nu29
FxeF0oWlySISmSy2FShSGs9uKaSza6F/24/JCzHtc46CX12XN+
4rZzOTMue==

オーソライズ

キャンセル

D) ライセンスのアンインストール

- ライセンスの管理画面を開き、「アンインストール」をクリックします。

GXtest License

ライセンスの状態: GXtest コーポレート - ユーザー数無制限 (V4): 承認済み。
ユーザー数無制限。開始日: 19/07/17 00:00. 残存日数: 15

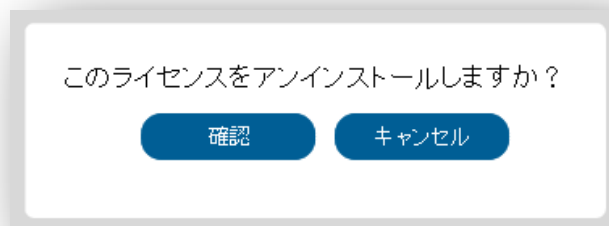
ライセンスを請求

ライセンスを入力

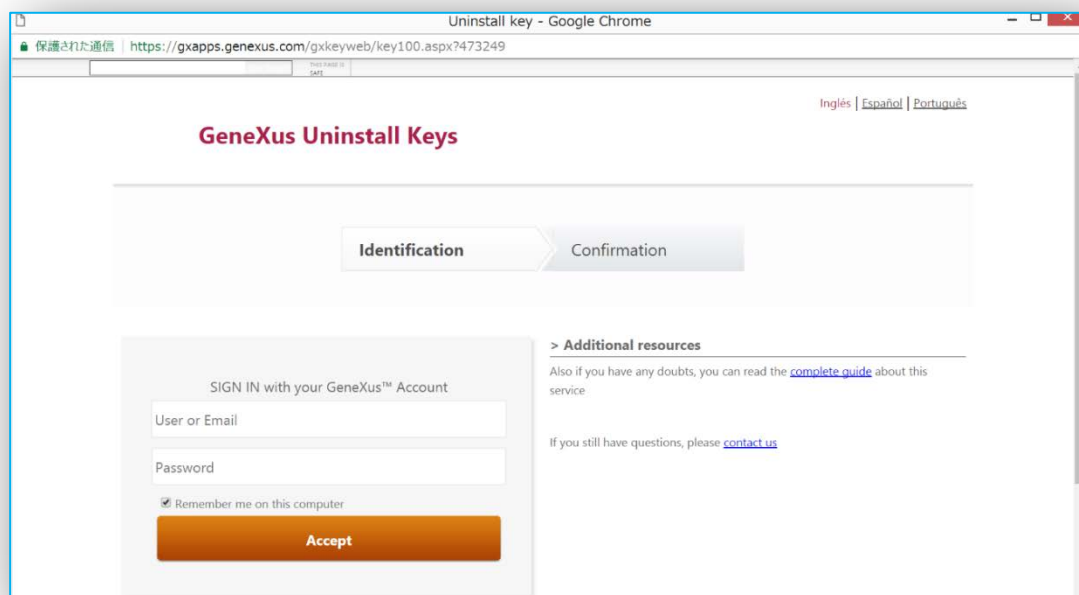
ファイルをアップロードする

アンインストール

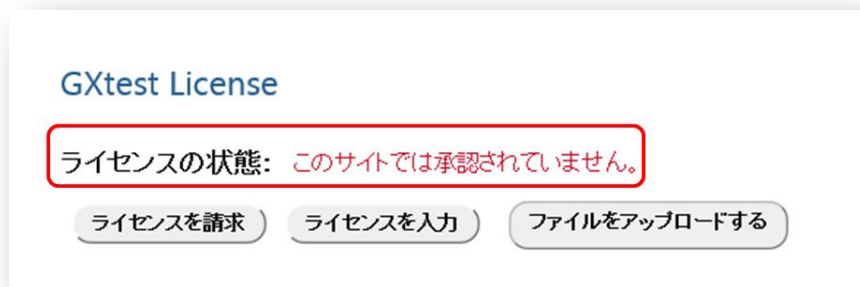
2. 「確認」をクリックします。



参考：「確認」をクリックした後、既定のブラウザにて、下図の「GeneXus Uninstall Keys」という名前のページが表示されますが、このページの内容は無視し、ブラウザを閉じて問題ありません。



3. 下図のようにライセンスが無い（承認されていない）ことが確認できればアンインストールは完了です。





アンインストールファイルの取得：

ライセンスのアンインストール後、アンインストールファイル（GXServer.gxa）がアンインストールを行った GXserver のインストールフォルダ直下に生成されます。このファイルが**エビデンス**の一つとなります。

例：

端末に GxserverA と B がインストールされています。GxserverA の Web コンソールでライセンスをアンインストールすると、アンインストールファイルは GxserverA のインストールフォルダに作成されます。

GxserverB のインストールフォルダには作成されません。

注意： Web コンソールで GXserver ライセンスまたは、GXtest のライセンスをアンインストールすると GXserver のインストールフォルダ直下にアンインストールファイル（GXServer.gxa）が生成されます。アンインストールファイルは生成される度に GXServer.gxa、GXServer_1.gxa、GXServer.gxa_2...というように、末尾に番号が追加された状態で生成されます。そのため、今までに何度かライセンスのアンインストールを行っている、複数のアンインストールファイルが GXserver のインストールフォルダ直下に保存されます。アンインストールファイルの名前からでは、どのファイルが GXtest のアンインストールか識別することはできません。

例えば、GXserver ライセンスをアンインストールしてから GXtest ライセンスをアンインストールした場合、GXserver のインストールフォルダ直下には下記 2 つのファイルが生成されます。

- ・ GXServer.gxa
- ・ GXServer_1.gxa

ファイル名だけではどちらが GXtest のアンインストールファイルか識別できません。そのため、GXtest ライセンスをアンインストールした直後に最新のアンインストールファイルを別名保存するなどして識別できるようにしてください。

※もしアンインストールファイルが生成されていない場合、GXserver インストールフォルダ直下にある「GxProt.log」を**代わりのエビデンス**としてください。ただし、その場合は、アンインストールファイルが無いことを「GxProt.log」を送付するメールにてお伝えください。